

## 市民病院と救急隊の連携を進めています



『地域住民の「生きる」を支え続ける』という理念を遂行するためには日常の診療はもちろんですが、救急医療体制の提供も非常に大事なものと考えています。その一環として本年度から救急隊との勉強会を開始した他、研修医の救急現場研修なども開始しました。

受診を断らない救急医療の提供をめざして努力していきます。

市民病院救急医療委員長 外科医長 川井正隆先生

### 救急医療委員会

救急医療委員会は、救急医療の体制づくりと整備、救急医療機能の改善と質の向上を図るため、救急患者の内容の分析や救急体制の整備、問題事例の検討などを毎月行っています。

### 研修医救急現場研修

今回の研修で実際に救急車に乗ることができ、とても貴重な経験となりました。限られた時間の中で、救急隊員が家族などから患者の状態をととても詳しく聞き取りをしていたことに、大変驚きました。

今後は今まで以上に救急隊員の話の詳細を聞き、診療に活かしていきたいと思います。



研修医 鈴木宏幸先生



## 119番通報から医療機関収容まで



通信指令室で通報を受けます。通報を受けると同時に、隊員に出動指令！



隊員は放送を聞きながら準備し、通信指令員が聞き取った情報を確認します。



出動！状況にもよりますが、通報を受けてから2～3分ほどで出動します。



医療機関は救急隊からの情報提供により受け入れ体制を整えます。



搬送中には、救急救命士が観察・処置をおこないます。



電話で家族などから情報収集し、患者の状況を把握します。

プレアライバル  
コール中  
現場に向かう途中に  
電話をします